



たけた市議会だより

NO.79

令和8年5月1日発行

TAKETA Gikai News

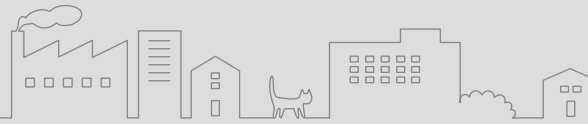


竹田市議会



- 代表質問 2~4
- 一般質問 5~8
- 第1回臨時会 議決結果 8
- 第1回定例会 一般会計予算 ... 9~10
- 第1回定例会 議決結果 10~11
- 議会改革調査特別委員会報告 12

鉄橋を見守る石橋



令和8年第1回定例会は、2月24日から3月17日まで22日間の日程で開かれました。3月3日、3会派の代表が代表質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。



るが、検討はしているので、情勢を見ながら判断する。

Q 中九州横断道路の整備を見据えるなかで、市外事業所への通勤も視野に、早急にインターチェンジ付近を中心とした住宅整備を進められないか。竹田西インター（仮称）が整備される松本地区も有力と考えるがいかがか。

A 住宅整備の必要性を感じており道路が出来てから慌てて整備するのでは遅いと考えている。公共用地の活用を含め住宅整備を検討している。松本地区についても今後検討する。



忠恕ユニット

阿南 智博

人口減少社会に抗う 政策について

Q 消滅可能性自治体からの脱却を目指すのか。

A 竹田の未来は外部の評価によって決まるものではない。市民の力を結集し、地域への愛着と誇りを次の世代へ繋ぐことで未来に誇れる竹田市を築く。

Q 2005年の合併から20年で、若年女性人口の減少率は55%と加速度的に減少している。出生数も年間50人以下で推移しているが、対策は。

A 竹田市に住み、働き、子育てをしたいと思っただけのこと、出生数の底上げに繋がる。保育料無償化や妊婦検診、出産時の交通宿泊費助成、子ども医療費助成の拡大に取り組んでいる。また、若者の定住に向け新築住宅補助や事業者向けの住宅整備補助制度により質の高い集合住宅整備も進めている。自然動態の改善は一朝一夕には実現しないが、社会動態の改善を起点に、若者の定着を目指す。

Q 移住定住の推進に向けては、他自治体との差別化も必要と考える。令和8年度から小学校給食費の無償化が予定されている。中学校給食費についても無償化を検討できないか。

A 中学校は今回、見送りということになってい



中九州ニュータウン

シティプロモーションについて

Q シティプロモーションのための認知度向上の取組は。

A 様々なメディアを使った取組やパンフレット制作、SNSの活用など様々な媒体を通じて情報発信をしてきたが、意図した効果を得られていない。このためプロモーションに特化した課を設置する。移住政策、観光振興、ふるさと納税などについて、マーケティング視点を取り入れ包括的な取組の強化を図る。

用語解説

※消滅可能性自治体…日本創成会議等が公表している2020年から2050年までの30年間に、20歳から39歳の若年女性人口が50%以上減少すると推計される自治体。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



創生会

後藤 建一

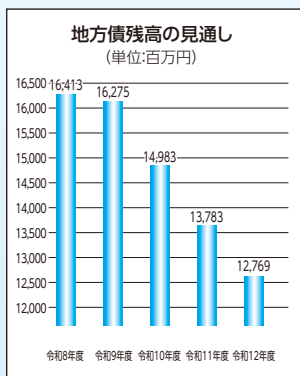
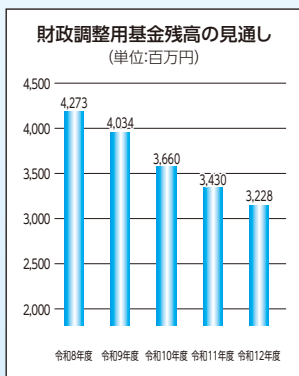
中期的な財政収支の試算について

Q 財政収支の試算によると、今後の5年間の竹田市財政収支の見通しは、累計で14億9,600万円の赤字となっている。赤字に対して経費削減策も含め、どのような対策を講じるのか。

A 限られた財源を最も効果の高い施策に重点的に投入できるよう、外部委員を加えた事務事業の見直しを継続して実施していく。また、市町村合併以前から各地域で保有してきた公共施設については、複合化や集約化、さらには廃止も含めた見直しを進め、保有総量の低減を図っていくことで経費節減を行っていく。歳出の抑制と行政運営の効率化を着実に進め、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立を目指していく。

歳入面では、企業誘致や地元産業の振興、観光振興による交流人口の拡大、ふるさと納税の強化など、地域経済の活性化に繋がる施策を推進し、将来的な税収基盤の強化に努める。また、令和7年度からの温泉施設の入浴料等の改定に引き続き、物価高の影響による維持管理費の上昇を踏まえた使用料の改定などを行い、経常経費に充当できる財源の確保を図る。

| 年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 歳入 | 18,650 | 19,044 | 17,978 | 17,965 | 17,922 |
| 歳出 | 19,030 | 19,303 | 18,371 | 18,212 | 18,139 |
| 収支 | △ 380 | △ 259 | △ 393 | △ 247 | △ 217 |



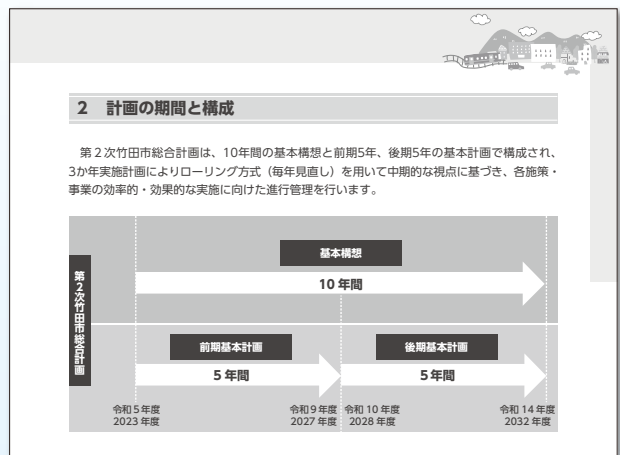
Q 2050年には竹田市の人口は、現在の半分になると試算されている。人口減少の中、長期的に安定した財政運営の維持にどう取り組むのか。

A 公共施設の複合化や集約化、施設の見直しや廃止、職員の適切な人員配置など、行政運営の効率化を進めていく。また、移住定住の促進、観光振興、産業支援など地域経済の活力を高め、安定した税収基盤の確保にも取り組む。人口規模に応じた行政のあり方へ段階的に転換し、将来世代に、過度な負担を残さない持続可能な財政運営を進めていく。

第2次竹田市総合計画について

Q 実施計画のなかで、前期5年間、後期5年間の基本計画を策定し、3年間を期間とするローリング方式で計画を見直していくとあるが、具体的にどの事業を見直したのか。

A 決算確定後に全事業を対象とした評価を毎年度実施し、成果と課題を、丁寧に検証したうえで、翌年以降の施策方針や予算、行財政改革の方向性に反映している。



第2次竹田市総合計画(抜粋)

用語解説

※ローリング方式…毎年、昨年度の実行状況を振り返り、その結果と状況の変化に基づいて、あらためて今後の3年間の計画を作ること。

その他質問

・市民生活の支援について



前進の会

工藤 忠孝

災害に強いまちづくりについて

Q 近年の大規模災害の教訓を踏まえ、指定避難所におけるエネルギー供給途絶のリスクと電力以外の熱源確保について、どのような危機意識と課題認識を持っているのか。

A 竹田市では、避難所における最低限の電力を確保するため、小型発電機や室内でも使用できる蓄電池の配置を進めているものの、施設全体を賄えるだけの電力供給が難しい現状である。避難生活を安定して維持するためには、電力だけに依存せず、様々な形のエネルギーを確保していくことが、求められるため、特定の供給が途絶する可能性も考慮し、複数の手段を組み合わせた体制を整える。

Q 災害に強く、分散型エネルギーとして有効な災害対応型LPガスバルク貯槽や空調設備などの導入を積極的に進め、避難所の生活環境改善と防災機能強化を図るべきと考えるが今後の整備方針は。

A 災害対応型LPガスバルク貯槽は、平時、災害時の双方で活用でき燃料供給の復旧も比較的早いエネルギー源として避難所の空調確保や炊き出し確保などの生活支援に有効であるが、導入にあたっては、多額の初期投資やランニングコストなど課題もあることから、他のエネルギー確保策や避難所設備の見直しなどの検討を進めている。国の補助制度の動向や、他自治体の取組状況を参考にしながら設備の導入について研究を続けていく。



LPバルク貯槽

地域経済の活性化について

Q 中九州横断道路の整備進展を最大の好機と捉え、本市の地理的優位性を活かした企業誘致を、どう加速させていくか。物流拠点や産業用地の確保など、トップセールスに向けた市長の意気込みは。

A インターチェンジ周辺を中心に物流拠点としての活用や企業ニーズを踏まえた産業用地に適した候補地の選定を進めている。今後も道路整備の進展を地域の発展に繋げるため、産業振興、雇用創出、地域経済の活性化に向けた施策を総合的に推進し、本市の魅力と可能性を最大限引き出していく。



中九州高規格道路

人口減少対策と多文化共生の推進について

Q 外国人材を単なる労働力でなく、地域を支えるパートナーとして、迎え入れるための多文化共生社会のビジョンは。

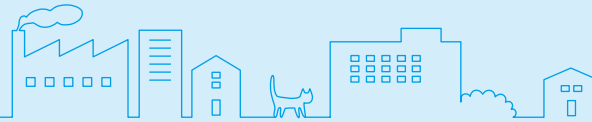
A 本市が目指すのは、国籍に関わりなく、共に安心して働き、暮らしていける多文化共生社会である。今後も関係機関や企業、地域住民と連携しながら、一緒に支えあえる地域づくりに邁進していく。

用語解説

※多文化共生社会…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと。

その他質問

・市長の政治姿勢について



3月3日・4日、6人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



🗣️ 中村 光三

民生委員・児童委員の なり手確保及び推薦 制度の課題について

Q 推薦の遅れやなり手確保が困難だといった声が地域から挙がっていないか選任の状況は。

A 地域の慣例などの実情もあり、推薦に苦慮していると聞いているが、自治会長のご協力によりすべての地区から選任されている状況である。

Q 委員の仕事内容が可視化される方策をとることにより、理解度の向上と不安の軽減が図られ、推薦人の負担軽減となり手確保にも繋がると考えるが、市としての見解は。

A 依頼する際に仕事や役割がわかりやすいパンフレットの作成を検討する。また、活動費として竹田市独自の補助金を令和8年度予算において増額計上している。

合宿誘致の推進について

Q 各施設や設備をどのように整理されているか。

A 古いものでは築50年が経過しているが、安全面を最優先に取り組んでいる。

Q 市の主要な体育館に空調設備の設置はできないか。

A 有利な補助制度の活用を研究しながら整備を検討していく。

Q 閑散期に特化した施策も重要と考えるが市の見解を伺う。

A 閑散期対策や滞在日数の延長に繋がる支援策のありかたについて引き続き調査研究を進める。



市内での合宿のようす



池見 傑

観光政策について

Q 観光周遊ツアー促進事業「TAKE恋たけた」の効果と今後の取組は。

A 本事業は旅行商品の造成促進と新たな観光需要の創出に効果があり、令和8年度4月から円滑に商品造成を後押しできる体制を整えている。

| 補助金メニュー（経費助成） | |
|----------------------|------------------------|
| ツアー専用列車 80万円/便 | 大型バス 10万円/台 |
| 中型バス 8万円/台 | 広報宣伝費 5万円(上限) |
| 市内での食事 500円/1人あたり | 市内宿泊施設 1,500円/1泊あたり |

※「まちめぐりバスポート」等の配布費も金額支給対象となります。

Q 観光リーダーの育成と観光人材の確保のための対策は。

A 久住高原観光フェア&移住とお仕事相談会や竹田市オンライン合同企業相談会等のマッチングイベントをはじめ、人材活用術セミナー等の各種研修会を開催し、企業と求職者の接点創出に取り組んでいる。

Q 機構改革による観光プロモーション課の取組は。

A 新設する観光プロモーション課は、観光分野にとどまらずシティプロモーション全体の司令塔の役割を担う。庁内各部署と横断的に連携し戦略的に発信する体制を構築する。

空き家対策について

Q 遠方に住む空き家の持ち主への空き家再生バンク等の制度の周知方法は。

A 固定資産税の通知書にチラシを同封して制度の概要や支援内容を伝え、空き家と確認された物件の所有者に対して空き家アンケート調査を行っている。



賀籠六 めぐみ

指定管理者制度について

Q 指定管理者の意欲向上に繋がる体制づくりができていますか。

A 1年に一度、事業報告書や指定管理者との協議により年度協定の見直しをしている。

Q 老朽化等による多くの維持管理費の発生が予想される施設を指定管理先に指定することについて、基準を定めるべきではないか。

A この制度の導入は老朽化を基準としていない。引き続き指定管理方針を十分精査して公募を行っていく。

Q 指定管理者の意欲向上を図るPFSを採用する考えは。

A 有効な手段だが、評価基準の設定やコスト面

で課題がある。しかしまず委託事業で、導入の可能性について研究する。

住み慣れた地域で最後まで穏やかに暮らす体制づくりについて

Q ホームヘルプサービスの近年の状況は。

A 市内に8事業所。令和6年度末に1事業所、令和7年度に1事業所が休止した。要因は人材不足。

Q くらサポに介護保険制度の身体介護以外の生活援助まで担えるように次期、介護保険事業計画へ明確に位置付けることができないか。

A くらサポの生活支援の拡充に向けた抜本の見直しについては、検討する課題が多いため引き続き検討する。



くらサポの活動のようす



🎙️ 上島 貞子

加齢性難聴者の補聴器購入支援について

Q 高額なため、高齢者には購入が難しいと考えられる補聴器購入支援について、補助制度などの検討は。

A 本市では加齢性難聴者の方に対する補聴器の助成制度はないが、フレイルや認知症予防の取組として、竹田市地域包括支援センターの言語聴覚士による出前講座を行い、難聴予防の必要



言語聴覚士による出前講座

性や自分に合った補聴器を装着することの重要性、装着後の留意点などを啓発している。今後、第10期介

護保険事業計画に向けて、各種助成制度だけでなく、普及啓発の強化、早期発見の仕組みづくり、相談やフォロー体制の充実なども含め、検討する。

用語解説

※フレイル…加齢に伴い心身の活力(筋力、認知機能、社会との繋がり等)が低下し、健康な状態と要介護状態の間にある虚弱な状態のこと。

小中学校の体育館へのエアコン設置について

Q 災害時には避難場所となることも念頭に、設置を進めてはどうか。

A 体育館は災害発生時には、住民の避難場所としての役割も担う。児童生徒の熱中症対策、避難場所の機能強化の観点から空調の整備は効果的な事業であるため、国の有利な補助制度の活用を研究し、整備を検討する。令和7年度に策定をした公共施設整備計画においても、令和9年度および10年度に一部の学校から事業を実施する計画である。



🎙️ 佐藤 美樹

豊後竹田駅周辺整備計画について

Q 市街地導水路再整備事業の内容と事業費は。

A 市街地導水路は、勾配不足や生活排水流入・老朽化による衛生害虫や悪臭、漏水などの問題がある。令和8年度に調査をし、総事業費約5,000万円改善を図る。

Q 市民の合意形成やJRなどの関連事業者との協議の状況は。

A ワークショップや説明会を通じ、市民の意見を聞き、JRとは用地交渉などについて協議した。路線の存続性は公表ができないことや駅構内のバリアフリー化は乗降客数基準に足りず、実施は厳しいとの回答であった。県との協議後、地元自治会へ説明予定。

Q 事業費を安全対策のための工事に特化し、事業費を抑える考えはないか。

A 総事業費は約10億1,000万円で、国の補助と起債で行うが、適切な財源を財政課と協議する。5か年計画の執行により単年度の財政負担を軽減し、事業費は削減する。

Q 福祉や観光、交通を含めた総合政策として庁内の連携が必要ではないか。

A 庁内の政策的議論を十分行い、実施設計へと移行する。



現在の豊後竹田駅



山村 英治

大蘇ダムについて

Q 令和8年度の給水はどのように想定されるのか。

A 九州農政局の説明によると、全国的に水不足が予想される中で、3月1日時点の大蘇ダム貯水率は29.6%となっている。営農を維持するための対策は次のとおりである。

- ① 県営大谷ダム下流の湧水の活用やファームポンド敷地内に設置された井戸水の活用
 - ② 平川頭首工からの取水条件の緩和
 - ③ 大蘇ダム右岸下流側の湧水と漏水観測排水ピットの活用
 - ④ 給水車の活用
 - ⑤ ダムの停滞水域からのポンプアップ
- 以上の給水対策を想定し、九州農政局で検討中である。

Q 今後、農水省による大蘇ダム管理が行われると聞か、用水不足解決の見通しは。

A 九州農政局の説明によると、追加浸透抑制対策と用水確保を組み合わせて取り組む。斜面部やコンクリート吹付部分の目地等の補修、上流部池底整備のための工事用道路の整備、新たな井戸の活用の調査検討、平川頭首工からの補水増量について、国交省と協議を進めるとのことである。



大蘇ダム

用語解説

※ファームポンド…かんがい用水を送るため、あらかじめ水を貯めておくコンクリート製の大きな水槽

その他質問

・竹田市文化芸術振興計画策定事業について



第1回臨時会 (令和8年1月26日)

令和7年度一般会計補正予算



【内容】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

補正額：5億2,967万7千円増額(総額:236億5,151万6千円)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

歳出

- ◆ 自治会集会所照明LED化事業 3,000万円
- ◆ 自治会防犯灯照明LED化事業 1,000万円
- ◆ 物価高騰対策生活者支援事業 1億9,895万円
- ◆ 社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業
- 障害者福祉施設 210万5千円
- 高齢者福祉施設 483万8千円
- 子育て・保育施設等 59万3千円

- ◆ 带状疱疹予防接種事業 550万円
- ◆ 指定ごみ袋配布事業 648万1千円
- ◆ 地域消費喚起プレミアム付商品券支援事業 1億6,245万円
- ◆ 燃料価格高騰対策観光周遊ツアー一造成事業 468万円
- ◆ 学校給食費保護者負担軽減事業(既存予算に充当) 612万3千円
- ◆ 物価高騰対応子育て応援手当支給事業 4,289万5千円

議決結果

令和8年

第1回臨時会

令和8年1月26日

議案等の議決結果

条例案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------|---------------------------|----|
| 議案第1号 | 令和7年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について | 可決 |

予算案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------|-----------------------|----|
| 議案第2号 | 竹田市学校給食費徴収条例の一部改正について | 可決 |

第1回定例会

令和8年度一般会計予算の原案が **可決**



動議による修正案は **否決** となりました。

一般会計予算：206億3,700万円 **原案可決**

修正案に係る審査経過

市長から上程された令和8年度一般会計予算案に対して、令和8年3月9日、10日に行われた第1回定例会・予算特別委員会において、佐藤美樹委員から修正動議^{※1}が提出され、賛成・反対の立場から討論が行われた結果、予算特別委員会では修正案が可決されました。

また、3月17日の最終日に行われた本会議では、予算特別委員会委員長報告に対する修正案の賛成・反対の討論が行われ、採決の結果、本会議において、修正案が否決。原案が可決されました。ここでは修正案の審査内容の一部についてお知らせ致します。

修正案の対象事業

豊後竹田駅周辺整備事業 1億7,328万8千円

事業費内訳 ●不動産鑑定委託料 800万円 ●測量設計委託料 6,278万8千円
●用地購入費 2,250万円 ●建物移転補償費 8,000万円

事業内容 豊後竹田駅を中心に「創る・結ぶ・繋ぐ」を理念とした交通の利便性と安全性を高める拠点整備を行う。鉄道・バスのターミナル化や駐車場の確保による、城下町への回遊性の向上と賑わいを創出するとともに、景観計画に基づいた歩行動線の形成を通じ、竹田市の玄関口としての拠点性を強化する。令和8年度は設計等の事業費を計上。

(1) 予算特別委員会 (R8.3.9~10) における修正動議

【修正案内容】 豊後竹田駅周辺整備事業の1億7,328万8千円の予算削除案
都市下水道設計業務委託料500万円の財源組替案

【採決結果】 **賛成多数で予算委員会にて修正案「可決」** → 本会議にて委員長報告へ

(2) 本会議 (R8.3.17) における修正案の討論・採決

【審査内容】 予算特別委員会委員長報告に対する修正案への討論

【採決結果】 **賛成少数で修正案「否決」** → **原案が「可決」**

討論内容

修正案への「賛成」討論 (原案反対)

- 豊後竹田駅を交通結節点とし、交通網の充実を図ることを挙げているが、萩、久住、直入地域の市民に具体的な事業効果の説明がなく、竹田の中心市街地以外の市民から理解を得られていない。
- 総事業費10億円規模と大きな公共事業であるため、費用対効果を示し、市民の理解を得てから実施設計費及び用地購入費等の予算を認めるべき。(以上、賀籠六めぐみ議員)

修正案への「反対」討論 (原案賛成)

- 人口減少社会のなか、多様なモビリティの交通結節点として、駅前を安全で魅力的な空間に整え、竹田市の中心市街地の玄関口として、人の流れを創出することは、竹田市の持続可能性を高めるために、必要不可欠。(熊野忠政議員)
- 都市計画マスタープラン、立地適正化計画の策定や都市計画審議会での議論、市民説明会等を経て、合意形成を図りながら本計画は一步一步踏み込んで動き出した計画で、切望する市民の声がある。
- 交通結節点の心臓部である駅前を起点に人と経済を市内全域へ送り出す極めて戦略的かつ全市的な投資である。(以上、工藤忠孝議員)

議会用語解説

修正動議^{※1}

議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、修正案を添えた「修正動議」を提出することになります。

主な新規事業、重点事業

令和8年度 一般会計予算

歳出

| | |
|---------------------|-----------|
| ◆総務費 | |
| ケーブルネットワーク通信系機器更新事業 | 2億1,295万円 |
| 竹田市文化芸術振興計画策定事業 | 437万6千円 |
| 事業承継支援事業 | 200万円 |
| ◆民生費 | |
| 介護サービス提供体制確保事業 | 1,107万5千円 |
| ◆衛生費 | |
| 医療人材確保対策事業 | 100万円 |
| 新環境センター整備事業負担金 | 5億752万円 |
| ◆農林水産業費 | |
| スマート農林業普及高度化支援事業 | 650万円 |
| 未整備森林整備事業 | 300万円 |
| ◆商工費 | |
| 竹田温泉花水月リニューアル事業 | 792万円 |

| | |
|-------------|-------------|
| ◆土木費 | |
| 豊後竹田駅周辺整備事業 | 1億7,328万8千円 |
| ◆教育費 | |
| 竹田小学校増築事業 | 1億1,000万円 |

歳入

| | |
|-------|--------------|
| 市税 | 20億8,762万4千円 |
| 地方交付税 | 81億円 |
| 国庫支出金 | 21億8,579万円 |
| 県支出金 | 21億8,463万8千円 |
| 寄附金 | 4億8,487万7千円 |
| 繰入金 | 16億6,950万8千円 |
| 市債 | 19億130万円 |

令和8年度 竹田市立子ども診療所特別会計予算

| | |
|---------------|---------|
| ◆来院型オンライン診療事業 | 396万9千円 |
|---------------|---------|

議決結果

令和8年

第1回定例会

令和8年2月24日～3月17日

議案等の議決結果

条例案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|--------|---|----|
| 議案第24号 | 竹田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について | 可決 |
| 議案第25号 | 竹田市行政組織条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第26号 | 竹田市行政手続条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第27号 | 竹田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第28号 | 竹田市基金条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第29号 | 竹田市土地開発基金条例の廃止について | 可決 |
| 議案第30号 | 竹田市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第31号 | 竹田市特別会計条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第32号 | 竹田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第33号 | 竹田市火災予防条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第34号 | 竹田市営駐車場条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第35号 | 竹田市手数料条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第36号 | 竹田市営久住牧場条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第37号 | 竹田市高額療養費等貸付金条例の廃止について | 可決 |
| 議案第38号 | 竹田市特定乳児等通園支援事業の運営の基準を定める条例の制定について | 可決 |
| 議案第39号 | 竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第40号 | 竹田市佐藤義美記念館条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第41号 | 竹田市文化財保護調査委員会条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第42号 | 竹田市旧竹田荘の管理及び公開に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第43号 | 竹田市岡藩主おたまや公園条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第44号 | 竹田市吉川家住宅倉庫の管理及び公開に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第57号 | 竹田市長及び副市長の給与に関する条例及び竹田市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第58号 | 竹田市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について | 可決 |

● 予算案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|--------|------------------------------------|----|
| 報告第1号 | 専決処分事項「令和7年度竹田市一般会計補正予算(第7号)」について | 承認 |
| 議案第3号 | 令和7年度竹田市一般会計補正予算(第8号)について | 可決 |
| 議案第4号 | 令和7年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第3号)について | 可決 |
| 議案第5号 | 令和7年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第6号 | 令和7年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について | 可決 |
| 議案第7号 | 令和7年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について | 可決 |
| 議案第8号 | 令和7年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第9号 | 令和7年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第10号 | 令和7年度竹田市久住高原荘特別会計補正予算(第1号)について | 可決 |
| 議案第11号 | 令和7年度竹田市水道事業会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第12号 | 令和7年度竹田市簡易水道事業会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第13号 | 令和7年度竹田市農業集落排水事業会計補正予算(第4号)について | 可決 |
| 議案第14号 | 令和8年度竹田市一般会計予算について | 可決 |
| 議案第15号 | 令和8年度竹田市立こども診療所特別会計予算について | 可決 |
| 議案第16号 | 令和8年度竹田市国民健康保険特別会計予算について | 可決 |
| 議案第17号 | 令和8年度竹田市後期高齢者医療特別会計予算について | 可決 |
| 議案第18号 | 令和8年度竹田市介護保険特別会計予算について | 可決 |
| 議案第19号 | 令和8年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計予算について | 可決 |
| 議案第20号 | 令和8年度竹田市久住高原荘特別会計予算について | 可決 |
| 議案第21号 | 令和8年度竹田市水道事業会計予算について | 可決 |
| 議案第22号 | 令和8年度竹田市簡易水道事業会計予算について | 可決 |
| 議案第23号 | 令和8年度竹田市農業集落排水事業会計予算について | 可決 |

● 一般案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|--------|--|----|
| 議案第45号 | 財産の無償貸付けについて | 可決 |
| 議案第46号 | 財産の無償譲渡について | 可決 |
| 議案第47号 | 財産の無償譲渡について | 可決 |
| 議案第48号 | 連携協約の変更に関する協議について | 可決 |
| 議案第49号 | 公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について | 可決 |
| 議案第50号 | 他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議について | 可決 |
| 議案第51号 | 水力発電施設周辺地域等地区集会所の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第52号 | 竹田市総合社会福祉センターの指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第53号 | 竹田市地区集会所の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第54号 | 竹田市過疎地域持続的発展計画の変更について | 可決 |
| 議案第55号 | 市道路線の廃止について | 可決 |
| 議案第56号 | 市道路線の認定について | 可決 |

● 議会議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|---------|---------------------|----|
| 議会議案第1号 | 竹田市議会委員会条例の一部改正について | 可決 |
| 議会議案第2号 | 竹田市議会会議規則の一部改正について | 可決 |

■ 賛否一覧表 令和8年第1回定例会(令和8年2月24日～3月17日)

※賛成・反対の双方があった場合又は特別多数議決を要する議案について表示しています。

| 議案番号・件名 | 議員名(議席番号順) | | | | | | | | | | | | | 審議結果 | |
|---------|---------------------------------|------|------|--------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 中村光三 | 副田富雄 | 上島貞子 | 賀籠六めぐみ | 池見傑 | 熊野忠政 | 工藤忠孝 | 阿南智博 | 後藤建一 | 本郷敦子 | 佐藤市蔵 | 佐藤美樹 | 山村英治 | | 阿部雅彦 |
| 議案第14号 | 令和8年度竹田市一般会計予算について | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | - | | | - | 可決 |
| 議案第39号 | 竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

表の見方…○: 賛成、-: 除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※議長は表決に参加しないため、表決結果は「-」。
※議案第39号については、特別多数議決を要する議案のため、議長も表決に参加。

議会改革調査特別委員会報告

委員長 阿南 智博

議会改革調査特別委員会の調査事項及び取組状況について報告します。

①市民との意見交換会について

今年度は各常任委員会ごとに行いました。議会だよりNo.78に掲載のとおり、総務産建常任委員会は「JAおおいた竹田ぶどう生産部会」、社会文教常任委員会は「放課後児童クラブ」と意見交換を行いました。

②議会運営の効率化について

一般質問及び代表質問の執行部答弁を自席から行うことについて、議会運営委員会に検討を依頼し、その結果、令和7年9月定例会より自席答弁を行うこととなりました。

③常任委員会の機能強化について

常任委員会の所管事務調査の臨み方について、議会運営委員会に検討を依頼しました。当面、常任委員会開催前に、委員間で調査事項を絞り込み、執行部に通告することで調査の深化を図ることとしました。

④議会議場中継のあり方について

現議場システム導入事業者への調査を行うなどの検討を進めています。当面は現在行っているケーブルテレビでの議会初日の模様及び一般質問等の中継に加え、新たに議案質疑等と最終日の採

決の模様を録画放送することを決定しました。令和8年6月定例会からの実施が決定しました。

⑤竹田市議会ハラスメント防止対策について

全国の自治体では、令和元年頃からハラスメント防止条例の制定が進んでいます。竹田市においても令和7年4月に「竹田市長等及び職員のハラスメント防止に関する条例」が施行されました。全国の議会でもハラスメントが相次いでいることを踏まえ、竹田市議会でもハラスメント防止対策の検討が必要です。議会全体にかかわる課題であるため、議会政策協議会での検討を依頼することとしました。



議会改革調査特別委員会から政策協議会へハラスメント防止対策を検討依頼

この他「議会基本条例の活用と見直し」「議会運営（議員間討議）」などについて今後検討を行ってまいります。

令和8年第2回(6月)定例会日程のお知らせ

令和8年第2回(6月)定例会の議会日程(予定)をお知らせします。

5月28日(木) 議会運営委員会、全員協議会

6月 1日(月) 本会議(議案の上程、諸報告ほか)
5日(金) 本会議(一般質問) **中継**
8日(月) 本会議(一般質問) **LIVE**
11日(木) 本会議(一般質問)

15日(月) 本会議(質疑、委員会付託ほか) **録画放送**

15日(月) 予算特別委員会
18日(木) 総務産建常任委員会
19日(金) 社会文教常任委員会
24日(水) 議会運営委員会、全員協議会

24日(水) 本会議(委員長報告・採決ほか) **録画放送**

※会議の日程等は変更になる場合があります。
※その他、議会情報は竹田市議会ホームページをご覧ください。
※生中継、録画放送はたけたケーブルテレビで放送します。



議会を傍聴しませんか

所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。どうぞ、お気軽においでください。

傍聴席には限りがあるため、希望者が多い場合にはご希望に沿えないこともあります。



New! 令和8年6月議会から本会議のすべての模様がケーブルテレビで放送されます

※これまでの放送に加え、議案質疑や採決の録画放送を追加し、市民の方に審査の過程等をケーブルテレビでご覧いただけるように執行部へ要請し、決定致しました。

写真提供者

林 寿徳氏
TOSHINORI HAYASHI

1957年生まれ
直入町長湯 在住

Profile

- ・大分県美術協会写真部委員
- ・竹田市美術協会写真部会員
- ・芹川写真クラブ事務局長 ・直入公民館長

「市議会だより」についてのご感想をお寄せください。
いただいたご感想を今後の誌面構成等に活かしてまいります。

発行：竹田市議会
編集：竹田市議会だより編集委員会
竹田市大字会々1650番地
TEL：0974-63-4813



竹田市議会

「たけた市議会だより」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。